



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月5日

上場会社名 株式会社 アルメディオ
 コード番号 7859 URL <https://www.almedio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 靖
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・情報開示・IR担当 (氏名) 関 清美
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 042-511-0500

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,484	12.7	18		9		24	
2019年3月期第2四半期	1,700	4.9	67		47		383	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 49百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 414百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	2.05	
2019年3月期第2四半期	38.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,096	2,215	71.5
2019年3月期	3,817	2,209	57.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,213百万円 2019年3月期 2,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,190	2.6	115		111		66		5.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	12,002,316 株	2019年3月期	11,697,316 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	111,437 株	2019年3月期	118,437 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	11,861,415 株	2019年3月期2Q	9,848,797 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料関係

・当該補足説明資料は、Financial Data Bookとして当社ウェブサイト(<https://www.almedio.co.jp/>)のIR情報ページに掲載いたします。Financial Data Bookには、事業別売上高ほか業績推移等をまとめております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境は底堅く、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

一方、世界経済は、米国の保護主義的な通商政策及び米中の貿易摩擦、中国経済の成長鈍化、英国のEU離脱問題、中東及び北朝鮮情勢など、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループは、2019年5月14日付「中期経営計画2019 (Fly for the bright future) の実施について」を公表し、引き続き「経営体制の強化」「新成長ドライバーの確立」に取り組みました。

なお、その他事業として、2019年4月17日付「新たな事業の開始に関するお知らせ」で公表したとおり、ナノマテリアル事業を開始しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,484百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。利益面は、営業利益18百万円（前年同四半期は営業損失67百万円）、経常利益9百万円（前年同四半期は経常損失47百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失24百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失383百万円）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、ナノマテリアル事業を開始しており、当該事業の経営成績は「その他事業」セグメントに含めております。

アーカイブ事業

当事業は、重要な情報を長期に亘って保存及び利用するための長期保存用光ドライブと長期保存用光ディスクの販売を行う「アーカイブ」と、産業用及びAV機器用光ドライブの開発・製造・販売を行う「ストレージソリューション」が含まれます。

アーカイブは、企業活動によって得られた過去の蓄積データの長期保存と、保管コスト削減を目的とした需要に対し、長期保存用光ドライブ及び長期保存用光ディスクを起点としたソリューション提案を行いました。長期保存用光ドライブは、顧客製品のモデルチェンジに合わせ堅調に推移した前年同四半期の売上を下回りました。

ストレージソリューションは、産業機器用光ドライブ搭載率の低下スピードは鈍化傾向にありますが、米国の中国製品に対する追加関税の影響を回避するための駆け込み需要があった前年同四半期の売上を下回りました。

以上により、アーカイブ事業の売上高は604百万円（前年同四半期比17.7%減）となりました。

断熱材事業

当事業は、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司において、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売を行っております。また、当社でも同社製品を中心とした輸入販売を行っております。

国内は、新規顧客の獲得等があったものの、電気炉等の受注があった前年同四半期の売上を下回りました。

阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司は、主力製品や異形成形品・電気炉等の受注が引き続き堅調に推移しました。

以上により、断熱材事業の売上高は834百万円（前年同四半期比13.9%増）となりました。

インダストリアルソリューション事業

当事業は、オーディオ・ビデオ機器やコンピュータ周辺機器等の規準及び調整用テストディスク等の開発・製造・販売を行う「テストメディア」と、各種ディスクの特性テスト受託等を行う「テストイング」が含まれます。

テストメディアは、主要顧客であるカーオーディオ・カーナビ等の車載機器向けの販売が、テストメディア使用量の減少等の影響により、計画を下回りました。また、AV機器市場及びPC市場においても、光ディスク以外の媒体への移行が引き続き進んでいることから、需要は減少しました。

テストイングは、光ディスクの市場縮小により受託件数は減少しました。

以上により、インダストリアルソリューション事業の売上高は44百万円（前年同四半期比37.4%減）となりました。

その他事業

当事業は、ナノマテリアルの研究開発・製造及び販売を行う「ナノマテリアル事業」と、中国市場でカップ式飲料の販売を行う「カップ式自動販売機のオペレーション事業」が含まれます。

ナノマテリアル事業は、粉末状の炭素繊維を、成型品細部へ高濃度で充填を行うことができるマスターバッチを製品化しております。各顧客に対して、有償でのサンプル出荷や引き合いは引き続き増加したものの、顧客での評価や検証プロセスにおいて評価段階であり、量産用の販売はありませんでした。

以上により、その他事業の売上高は0百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、固定資産の譲渡に伴う建物及び構築物並びに土地の減少等により、前連結会計年度末と比べて720百万円減少し、3,096百万円となりました。負債は、短期借入金の減少等により、前連結会計年度末と比べて727百万円減少し、880百万円となりました。純資産は、新株予約権の権利行使による資本金及び資本剰余金の増加等により、前連結会計年度末と比べて6百万円増加し、2,215百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表しました「2019年3月期決算短信」において発表しております連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,261,769	1,277,755
受取手形及び売掛金	880,659	711,580
商品及び製品	335,005	328,045
仕掛品	72,666	62,035
原材料及び貯蔵品	111,513	121,353
その他	136,963	83,990
貸倒引当金	△365	△103
流動資産合計	2,798,214	2,584,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	363,704	96,040
土地	192,485	-
その他（純額）	307,763	274,717
有形固定資産合計	863,953	370,757
無形固定資産	18,258	16,950
投資その他の資産	137,116	124,238
固定資産合計	1,019,328	511,946
資産合計	3,817,542	3,096,604

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,702	172,895
短期借入金	855,000	288,372
1年内返済予定の長期借入金	76,008	71,008
未払法人税等	16,737	19,368
賞与引当金	36,667	29,053
その他	180,064	132,625
流動負債合計	1,405,180	713,323
固定負債		
長期借入金	70,316	37,312
退職給付に係る負債	64,726	61,870
その他	67,649	68,268
固定負債合計	202,692	167,451
負債合計	1,607,872	880,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,316,479	1,343,746
資本剰余金	1,269,859	1,297,126
利益剰余金	△300,776	△329,643
自己株式	△94,362	△88,785
株主資本合計	2,191,198	2,222,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	343	-
為替換算調整勘定	16,082	△8,668
その他の包括利益累計額合計	16,425	△8,668
新株予約権	2,045	2,055
純資産合計	2,209,669	2,215,829
負債純資産合計	3,817,542	3,096,604

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	1,700,305	1,484,046
売上原価	1,187,749	1,010,040
売上総利益	512,555	474,005
販売費及び一般管理費	580,240	455,269
営業利益又は営業損失(△)	△67,685	18,735
営業外収益		
受取利息	1,209	1,513
受取配当金	415	360
為替差益	20,600	-
その他	4,731	1,673
営業外収益合計	26,957	3,547
営業外費用		
支払利息	4,567	2,137
為替差損	-	3,888
新株予約権発行費	-	6,164
その他	2,688	875
営業外費用合計	7,256	13,065
経常利益又は経常損失(△)	△47,983	9,218
特別利益		
投資有価証券売却益	-	332
新株予約権戻入益	-	546
特別利益合計	-	878
特別損失		
固定資産除却損	153	4,182
退職特別加算金	24,497	1,354
事業譲渡損	142,558	-
子会社清算損	-	3,624
減損損失	129,935	-
特別損失合計	297,143	9,161
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△345,127	934
法人税、住民税及び事業税	30,965	24,670
法人税等調整額	7,173	618
法人税等合計	38,139	25,288
四半期純損失(△)	△383,266	△24,354
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△383,266	△24,354

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△383,266	△24,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	312	△343
為替換算調整勘定	△31,366	△24,751
その他の包括利益合計	△31,053	△25,094
四半期包括利益	△414,320	△49,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△414,320	△49,449
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	アーカイブ 事業	断熱材事業	インダストリアル ソリューション事業	WEB ビジネス事業	その他事業	
売上高						
外部顧客への売上高	734,832	732,127	70,519	162,826	—	1,700,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	734,832	732,127	70,519	162,826	—	1,700,305
セグメント利益 又は損失(△)	66,819	108,975	38,240	△67,045	△36,912	110,077

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	110,077
全社費用(注)	△177,762
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△67,685

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、「WEBビジネス事業」セグメントにおいて、事業譲受の条件付取得対価の額が確定したことにより、新たにのれん42百万円が発生しております。一方、不動産投資環境の変化や業界の競争激化等が、想定以上に収益を圧迫していることから、改めて回収可能性を検討した結果、収益性の低下が認められたため、減損損失を特別損失に計上しております。当該減損損失を計上したことにより、のれんの金額が129百万円減少しております。

当第2四半期連結会計期間において、WEBビジネス事業を譲渡したことに伴い、「WEBビジネス事業」セグメントののれんの金額が197百万円減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

上記「3. 報告セグメントごとの資産に関する情報」に記載のとおりであります。

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結会計期間において、「WEBビジネス事業」セグメントにおいて、不動産投資環境の変化や業界の競争激化等が、想定以上に収益を圧迫していることから、改めて回収可能性を検討した結果、収益性の低下が認められたため、減損損失129百万円を特別損失に計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	アーカイブ 事業	断熱材事業	インダストリアル ソリューション 事業	その他事業	
売上高					
外部顧客への売上高	604,760	834,198	44,145	942	1,484,046
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	604,760	834,198	44,145	942	1,484,046
セグメント利益 又は損失(△)	84,086	106,614	16,857	△55,302	152,255

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	152,255
全社費用(注)	△133,519
四半期連結損益計算書の営業利益	18,735

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

WEBビジネス事業は、2018年9月30日付けで譲渡したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを廃止しております。

ナノマテリアル事業は、当第1四半期連結会計期間より事業を開始しており、「その他事業」セグメントに含めております。